

ミニテニス

◎用具

＜ラケット＞テニスラケットを一回り小さくし、柄の部分短くしたようなものを使います。

（ヘッド部：長さ 38cm 以内、幅：20～26cm。グリップ部：長さ 17cm 以内）

＜ボール＞ ビーチボールを小さくしたような、ビニール製のカラフルなボール（直径 13 cm～14 cm）。軽くてあまりスピードが出ず打ちやすいボールです。

＜コートとネット＞

バドミントンのダブルスコートとネットを使用します。但しネットの高さは 1 m です。

◎試合形式

①競技はダブルス、3ゲームマッチで行います。

②じゃんけんを行い勝った方が第1ゲーム（セット）のサービス権、又はレシーブのいずれかを選択します。もう一方のチームは残りの方になり、勝ったチームがサービス権を選択した場合はコートサイドを選択することができます。

③相手がミスをしたり、反則をした場合に 1 点が入ります。そして 6 点を先取したチームがそのゲームの勝ちとなり（ジュースはありません）、3ゲーム中 2 ゲームを先取したチームがその試合の勝者となります。

④第1ゲームのサービスは、サービス権を得たチームのいずれかの 1 人のプレーヤーが、そのゲームの勝敗が決まるまで続けて行います。

第2ゲームのサービスはもう一方のチームのいずれかの 1 人プレーヤーが続けて行います。

第3ゲームのサービスは両チームのプレーヤー 4 人が交代にサービスを行います。

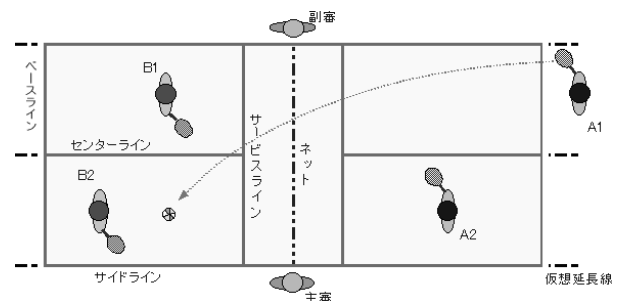
⑤サービス、レシーブを含め全てのボールはワンバウンドのあとツーバウンドする前に、腰から下の位置で打たなければなりません。

◎ゲームの進め方

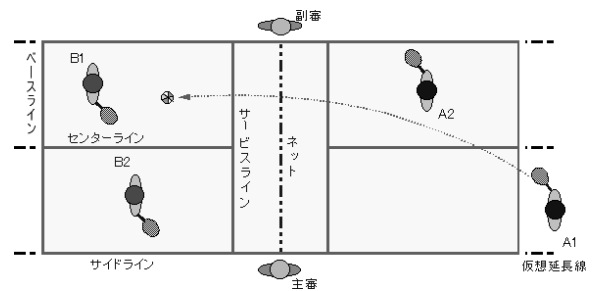
＜第1サーブ＞

○サービス権を得たチームのプレーヤーが第1セットのサービスを行います。最初のサービス位置はネットに向かい右半分のサービスエリアから行い、相手のコートの対角位置内（サービスライン、ベースライン、センターライン、サイドラインに囲まれたエリア）に打ちこみます。

○サービスは 1 回です。但しネットインした場合はやりなおす事ができます。



○今度はネットに向かって左半分のサービスエリアから、相手コートの対角コート内に打ちこみます。この時もう1人のプレーヤー（A2）もコートの位置を移動します。



○第1サーブと同じに右半分のサービスエリアから、相手コートの対角コート内に打ちこみます。この時もう1人のプレーヤー（A2）も元々の位置に移動します。以下、このゲームの勝敗が決まるまで、サービスエリアを交互に移動しながらサービスを続けます。

両チームでラリーを行い、一方のチームが6点を先取したらそのゲームの勝ちとなり、コートチェンジをします。第2ゲームのサービスは、第1ゲームでサービスを行わなかったチームのいずれか1人のプレーヤーが行います。以下、試合の進め方は第1ゲームと同じです。

①6点を先取したチームがそのゲームの勝ちとなります（ジュースはありません）。そして3ゲーム中2ゲームを勝ったチームが、その試合の勝者となります。

③サービスは自分の足元でボールをワンバウンドさせ、腰から下の位置で打たなくてはなりません。サービスは1回のみで、失敗してもやりなおしはできません。但しネットやボールに触れて相手コートに入った場合はやりなおす事ができます。

- ・サービスを腰から上で打ったり、失敗をした場合。
- ・打ったボールが直接ネットを越さなかった場合。
- ・ボールがコート外に落ちた場合。
- ・打ったボールが直接パートナーのラケットや体に触れた場合。
- ・ボールをノーバウンドで打った場合。
- ・ボールがツウバウンドする前に打てなかった場合。
- ・ラケットや身体がネットに触れたり、オーバーした場合。
- ・ボールを打とうとして2回以上触れた場合。

⑥サービスボールを含め、打ったボールがネットの支柱の外側を通過して相手のコートに

正しく入った場合、通過した時点のボール高さが、ネットの高さ1 mを確保していればセーフ。

